

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員が業務で忙しいとき、個人とゆっくり向き合って話することができないときがある。個別でケアしたほうが本人も安心するが、我慢してもらうこともある。	地域のボランティアに声をかけ、空いている時間を利用して、お話相手をしてもらったり、生活援助をしてもらいながら認知症ケアの理解をしていただく。	利用者の家族・友人・知人、またはボランティアしたい方への協力要請を促しボランティアを受け入れられる体制を整える。	3ヶ月
2	29	認知症の方が生活する住居ができたことで、地域から不安と偏見があったが、利用者の方がどのような人たちかもっと知ってほしい。	地域の方たちと顔なじみになり、お互いに助け合える関係を創って安心して生活していきたい。	お祭り、寄り合い、防災訓練などの地域行事に、利用者も一緒に参加していく。また、施設の行事にも地域の方を誘って、行き来できる関係づくりをしていく。	12ヶ月
3	37	利用者の希望や自己決定があるが、外に出る機会が限られているので、ストレスが溜まりやすい。	日々の散歩、買い物、季節行事はもちろん、その他、個別の外出や家族と一緒に外出する機会も増やしたい。	利用者の方には四季を楽しみながら日々の生活の中で、季節の行事を感じてほしい。ここでの生活が本当の家のように個別でのニーズにも対応していけるようにしたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。